since 1986

健康と温泉フォーラム第105回月例研究会

テーマ　「養生思想からみた温泉文化 」

(対面集会形式)

Yojo (self-caring) and Onsen (hot spring)

■ 主催：特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
　共催：一般財団法人日本健康開発財団　特定非営利活動法人日本スパ振興協会
　　地域活性学会
　　（温泉療法医研修１単位申請予定）

■ 日時：2023年2月24日(金)　14:00～17:00　開場　13:30~

■ 会場：北とぴあ７階会議室701（JR京浜東北線王子駅前）

■ 形式：対面集会形式のみでWEB配信はありません。

■ 会費：２千円（会員）3千円（一般）学生・報道　無料　(定員40名先着順)

■ プログラム：

1400　開会　開会挨拶、講師紹介
　　第1部　講演「養生思想からみた温泉文化」
1500　休憩
1515　第2部　質疑応答
1700　閉会

■ 講師： 西平 直（Tadashi Nishihira）（京都大学名誉教授）

講師略歴　1957年甲府市生まれ。信州大学・東京大学などで学び、立教大学講師・東京大学准教授・京都大学教授を経て、2022年より上智大学グリーフケア研究所・副所長、京都大学名誉教授。専門は、教育人間学、死生学、哲学。

■ 講演要旨

養生思想から温泉文化を見る。養生思想は古代中国に始まった。日本では貝原益軒『養生訓』の影響が大きい。養生は「気」を養う。気を停滞させない。気の新陳代謝を促す。江戸期の庶民に流行し、処世術として面白おかしく語られた。その江戸期は「湯治」が庶民の文化となった時期でもあった。ところが明治に入り、どちらも、時代遅れとなる。もはや養生ではない「衛生」の時代。それは単なる健康観の変化ではなかった。価値観の転換、自然と人間との関わり方の大転換。だからこそ、今日あらためて、養生が注目されている。自然と人間との関わり方が問い直されている。そうした長い養生思想の歴史から見る時、日本の風土に深く根差した「温泉」の文化はどのように見えてくるか。

返信先　　FAX　　：　03-6804-8575
E-mail　：　info@onsen-forum.jp
：　sumitogoda@gmail.com

NPO法人健康と温泉フォーラム事務局宛

参加申込書　(各□に✓お願いします)

必要事項ご記入の上、 上記FAX又はe-メール で返信お願いします

□　第105回月例研究会（2023年2月24日（金））に参加します

（対面集会形式で、WEB配信はありません）

●お名前（複数可）
・
・
・

●　□　会員（所属）□　健康と温泉フォーラム　　□　地域活性学会
□　日本スパ振興協会　　□　日本健康開発財団
□　温泉療法医会　　□　日本温泉気候物理医学会
□　一般

●団体・組織名

●住所　　〒

●連絡先　TEL　　FAX　　携帯☎　　.

**E-mail：　　@　　**

（メールアドレスは必ず明確にご記入ください）

●会費　　□　会員　２千円　□　一般　３千円
□　当日会場受付でお支払いください。　(領収書有)

●お問い合わせ　　特定非営利活動法人健康と温泉フォーラム
☎　FAX　03-6804-8575　E-mail　info@onsen-forum.jp　sumitogoda@gmail.com